

電報中継自動処理システム（TAS）

国際電報サービスの中央局の中継交換と、これに付帯する処理作業を自動化するために、電報中継自動処理システム（TAS）が開発され、1971 年（昭和 46）5 月から運用を開始した。TAS の試作には、KDD が開発したリアクトロン素子を用いた大型コンピュータ「KR-II」が使用された。商用運用された TAS は、本格的な大型コンピュータが使用された画期的なオンラインリアルシステムであり、デュアルシステム採用により高信頼性を実現した。

出典：KDD 社史